

みらくる

Mirakuru

2018年 7月 第30号

〈発行〉
社会福祉法人・NPO 法人 人権の会
しあわせネットワーク

〒620-0044
京都府福知山市字天田小字額田 426 番地
TEL0773-22-4659 FAX0773-22-4669
E-mail shiawase@kisnet.ne.jp

ふれあい 大運動会!!



「ふれあい大運動会」(H30.6.23)



六月二十三日(土)に三段池公園体育館で行われた福知山市主催「ふれあい大運動会」では大変なことが起こりました。なんと、三つある団体競技種目(フライングディスク投げ、玉入れ、混合リレー)において、全て三位。賞状三枚と賞品多数をゲットし、利用者の長谷川さんは表彰式に出ずっぱり。だれもが驚く好成績でした。自由参加も含め、その他競技にもほぼ全員が参加して、お菓子やあんパンを獲得しており、まさに収穫の多い運動会となりました。

それぞれが各競技に一生懸命に取り組んだ分、「疲れた」「忙しかった」などの感想もありましたが、成績が伴ったため、それ以上の達成感・充実感があり、楽しかったようです。

快挙!
表彰状三枚

施設だより

回収BOXの設置

リサイクル部では、五月より資源回収用BOXをしあわせネット・勇気の施設駐車場の一部に設置しました。これは近所の方や遠方から持参して頂く人たちに、気軽に回収BOXを利用していただき、リサイクル活動(資源回収)につなげるためのもので、回収BOXは空き缶、段ボール、新聞紙、天ぷら油用など分かりやすく分類してあります。朝になると山のように回収物が入っている日もあり、利用者の方たちも声を掛け合いながら作業をしております。



頑張っていますー! 「勇気工房ほほえみ」

食品製造部では、兼ねてより「ピーナッツかりんとう」の商品開発を進めていました。利用者さんの間では、味・食感ともに好評でしたが、かりんとうにピーナッツが上手く絡まず行き詰っていました。そんな時、エムケイ株式会社様の助成を受け『電気スチームコンベクションオーブン』の導入が決まりました。六月に導入後、さっそく商品開発に大活躍。ピーナッツも上手く絡まり、新商品が出来上がりました。今年の利用者さんの「夏のボーナスづくり」企画の目玉商品として、多数ご注文もいただいています。



黒密味とセットで販売した新商品「ピーナッツかりんとう」

しあわせネット後援会主催

今年の夏はバーベキューで楽しもう!

【日 時】平成30年7月28日(土) 午前10時頃～
※雨天の場合は翌7月29日(日曜日)
【場 所】長安寺公園憩いの家周辺(福知山市奥野部)
【参加費】大人:1,000円、小学生以下:500円
【申込み】お気軽にご連絡ください。電話 0773-22-4659



一緒にたくさん食べて、飲んで、夏の暑さを吹き飛ばしましょう!

編集後記

七月に入りました。蒸し暑さで寝苦しい夜も続きますが、体調管理だけはしっかりと整えて夏本番を迎えたいものです。前号をお届けしてからの五月、六月は「きょうされん全国大会」への取り組みや、利用者さんの「夏のボーナスづくり」、新年度に向けての諸会議など、利用者・職員・役員ともに忙しい毎日でした。六月に行った福祉後援会の総会には多くの会員さんに来て頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。その福祉後援会主催の「バーベキュー大会」を五年ぶりに長安寺公園憩いの家周辺で開催します。ぜひともご参加ください。夏の暑い一日、みんなで暑さを吹き飛ばして楽しみましょう。

財務状況の開示

資金収支計算書 (H29.4.1~H30.3.31)

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(B)-(A)
収入			
就労支援事業収入	17,913,785	17,960,033	46,248
障害福祉サービス等事業収入	43,394,600	44,155,363	760,763
経常経費寄附金収入	500,000	472,000	△28,000
受取利息配当金収入	2,000	2,284	284
その他の収入	472,000	470,711	△1,289
事業活動収入計(1)	62,282,385	63,060,391	778,006
支出			
人件費支出	35,205,000	34,895,385	△309,615
事業費支出	5,029,000	4,741,601	△287,399
事務費支出	7,073,000	6,700,921	△372,079
就労支援事業支出	18,000,000	17,071,930	△928,070
支払利息支出	516,085	512,302	△3,783
事業活動支出計(2)	65,823,085	63,922,139	△1,900,946
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△3,540,700	△861,748	2,678,952
収入			
施設整備等補助金収入	24,407,000	24,407,000	
施設整備等寄附金収入	500,000	429,000	△71,000
設備資金借入金収入	7,000,000	7,000,000	
施設整備等収入計(4)	31,907,000	31,836,000	△71,000
支出			
固定資産取得支出	31,968,000	32,788,471	820,471
施設整備等支出計(5)	31,968,000	32,788,471	820,471
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△61,000	△952,471	△891,471
収入			
その他の活動による収入		1,095,156	1,095,156
その他の活動収入計(7)		1,095,156	1,095,156
支出			
長期運営資金借入金元金償還支出	3,540,000	3,540,000	
その他の活動支出計(8)	3,540,000	3,540,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△3,540,000	△2,444,844	1,095,156
予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△7,141,700	△4,259,063	2,882,637
前期末支払資金残高(12)	8,927,200	6,889,378	△2,037,822
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	1,785,500	2,630,315	844,815

事業活動計算書 (H29.4.1~H30.3.31)

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
増収			
就労支援事業収益	17,960,033	19,639,866	△1,679,833
障害福祉サービス等事業収益	44,155,363	40,065,458	4,089,905
経常経費寄附金収益	472,000	925,500	△453,500
サービス活動収益計(1)	62,587,396	60,630,824	1,956,572
費用			
人件費	34,895,385	31,996,581	2,898,804
事業費	4,741,601	5,833,110	△1,091,509
事務費	6,700,921	4,490,572	2,210,349
就労支援事業費用	17,121,789	14,446,017	2,675,772
減価償却費	3,915,830	3,126,247	789,583
サービス活動費用計(2)	67,375,526	59,892,527	7,482,999
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△4,788,130	738,297	△5,526,427
増収			
受取利息配当金収益	2,284	2,226	58
その他のサービス活動外収益	470,711	755,382	△284,671
サービス活動外収益計(4)	472,995	757,608	△284,613
費用			
支払利息	512,302	234,666	277,636
サービス活動外費用計(5)	512,302	234,666	277,636
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△39,307	522,942	△562,249
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△4,827,437	1,261,239	△6,088,676
増収			
施設整備等補助金収益	24,407,000	24,407,000	
施設整備等寄附金収益	429,000	569,500	△140,500
その他の特別収益	2,668,823	2,668,823	
特別収益計(8)	27,504,823	569,500	26,935,323
費用			
固定資産売却損・処分損		238,985	△238,985
在庫補助金等特別積立金積立額	24,407,000		24,407,000
その他の特別損失	1,044,658		1,044,658
特別費用計(9)	25,451,658	238,985	25,212,673
特別増減差額(10)=(8)-(9)	2,053,165	330,515	1,722,650
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△2,774,272	1,591,754	△4,366,026
増減			
前期繰越活動増減差額(12)	14,768,858	13,177,104	1,591,754
減越			
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	11,994,586	14,768,858	△2,774,272
差活			
基本金取崩額(14)			
その他の積立金取崩額(15)			
その他の積立金積立額(16)			
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	11,994,586	14,768,858	△2,774,272

貸借対照表 (H29.4.1~H30.3.31)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	12,000,886	17,678,700	△5,677,814	流動負債	12,878,661	10,764,562	2,114,099
(現金預金)	3,827,534	7,794,140	△3,966,606	短期運営資金借入金	4,964,488	4,964,488	
現金	240,000	614,712	△374,712	事業未払金		3,494,597	△3,494,597
小口現金		10,574	△10,574	1年以内返済予定設備資金借入金	472,000		472,000
普通預金	3,587,534	6,628,854	△3,041,320	1年以内返済予定長期運営資金借入金	3,540,000		3,540,000
積立預金		540,000	△540,000	未払費用	3,551,038	1,110,205	2,440,833
事業未収金	7,633,034	8,600,549	△967,515	預り金	41,200	89,474	△48,274
未収補助金	32,908	32,908		職員預り金	309,935	1,103,798	△793,863
商品・製品		24,760	△24,760	前受金		2,000	△2,000
原材料	503,910	503,910		固定負債	18,490,000	19,042,000	△552,000
原立替金	3,500	1,239,251	△1,235,751	設備資金借入金	6,528,000		6,528,000
仮払金		20,000	△20,000	長期運営資金借入金	11,962,000	19,042,000	△7,080,000
固定資産	55,769,361	26,896,720	28,872,641	負債の部合計	31,368,661	29,806,562	1,562,099
(基本財産)	51,092,860	21,011,269	30,081,591	国庫補助金等特別積立金	24,407,000		24,407,000
土地	12,497,400	12,497,400		国庫補助金等特別積立金	24,407,000		24,407,000
建物	38,595,460	8,513,869	30,081,591	次期繰越活動増減差額	11,994,586	14,768,858	△2,774,272
(その他の固定資産)	4,676,501	5,885,451	△1,208,950	(うち当期活動増減差額)	△2,774,272	1,591,754	△4,366,026
建物	1,614,290	1,774,147	△159,857	純資産の部合計	36,401,586	14,768,858	21,632,728
機械及び装置	2,711,438	3,485,134	△773,696	負債及び純資産の部合計	67,770,247	44,575,420	23,194,827
車両運搬具	50,544	151,770	△101,226				
器具及び備品	248,579	422,750	△174,171				
その他の固定資産	51,650	51,650					
資産の部合計	67,770,247	44,575,420	23,194,827				

理事長挨拶

平成三十年度は飛躍の年に 理事長 藤本 善章

梅雨明けを間近に控えて、蒸し暑い日が続きますが、皆様にはお元気でご活躍の事と存じます。平素は当法人の事業活動にご支援いただき有難うございます。さて、私が法人の理事長に就きまして早一年が過ぎました。この六月に「平成二十九年度の事業報告・決算、平成三十年度の事業計画・予算」等を役員会で審議し、承認を受けることが出来ました。平成二十九年度は就労継続支援B型事業所「しあわせネット・勇氣」の建設竣工や、施設の開設十周年記念行事などに取り組みながら、施設に通所する利用者（仲間）の増員と、工賃（賃金）の向上に向け、その柱となる三つの事業



（食品製造販売事業・大学食堂委託事業・各種資源回収事業）の収益アップにと努めてまいりました。職員等の努力により一定の改善は図られました。利用者が安心して働き、安心して暮らせる条件整備にはまだまだ到達していません。この課題を役員会や職員会議等を通じて話し合い、役員が一丸となって取り組んで、「平成三十年度には飛躍が来た」と報告が出来るように努めてまいりまして、皆様には引き続きのご支援並びにご協力をどうぞ宜しくお願い致します。合わせて、今年九月に京都市内で開催されます「きょうざれん全国大会（京都大会）」へのご協力もお願いをして、ご挨拶とさせていただきます。

職員を辞退 役職の任を全力で

副理事長 一井 義光

私が妻らと、高齢者や障がい者の人たちの自立支援を目的とした法人を立ち上げて十二年。気がつくとも来年は後期高齢者の仲間入りの歳となりました。幸いにして法人の運営は、ベテラン指導者や施設長を含む若い世代に任せられる体制が出来たのを機に、五月三十一日付で役職（副理事長）の任を残して職員を辞退することにしました。この間、高齢者の仕事探しに走り回り、無認可施設「デイサービス・いこいの家」を運営し、障がい者就労支援施設「しあわせネット・勇氣」を開所するなど、忙しい毎日を送りました。これら

は他の施設での作業をこなし、午後からは「いこいの家」で勤務して頂きました。施設を運営して来た中で「番大変だったことは、平成二十六年八月豪雨の水害被害により「四季の味・勇氣」がわずかに十ヶ月で閉店したことです。嬉しかったことといえば、老朽化が進んでいた施設が新しく生まれ変わり、通所する利用者が増える中で、無事に開設十周年を迎えることが出来たことです。これまで私たちを支えて頂いた全ての皆様にお礼を申し上げます。私自身は、残された任期中、京都丹後鉄道に揺られながら通勤して、広報誌の発行や、きょうざれんの取り組み、福祉後援会活動に福祉連協・大学支援の会などに参加します。ひとまず、職員としての役割を終えたことを報告し、これまでものご支援に感謝申し上げます。